【畜産】 高温条件下における家畜・家禽の暑熱対策について

令和7年8月1日
県北農林事務所農業振興普及部

1 畜舎内の飼養環境改善

- (1) 畜舎の窓・扉を開放し、換気扇、送風機により送風、通風促進を図る。
細霧装置による噴霧や、直接床に散水することも、畜舎内の体感温度を下げる効果がある。
- (2) 扇風機やダクトファンにより、家畜に直接風を当て、家畜の体感温度を下げる。また、飼養密度を下げることも体感温度低下に効果がある。
- (3) 寒冷紗等を利用して畜舎内への直射日光を遮断し、畜舎内の温度上昇を防ぐ。
- (4) 畜舎内を清潔に保ち、アンモニアの発生や高温多湿にならないよう、除糞、敷料の交換をこまめに行う。
- (5) 特に暑熱のダメージが大きい家畜については、直接畜体へ水をかけるなどの応急措置を行う。

2 飲水及び飼料の管理

- (1) 新鮮な水を十分に飲水できるように、給水施設を清潔に保つ。また、バルクーラーなどを活用し冷却水を与える工夫をする。
- (2) 牛については、早朝及び夜間などの涼しい時間帯での給与や、給与回数を増やすなどの工夫をする。
- (3) 高温時は、発汗等により無機質の要求量が増えるため、固形塩や主要ミネラル類をやや多めに補給する。
- (4) 飼料残渣は変敗しやすいため、ハ工等の発生を防ぐため、食べ残しの飼料は早期に片付け、飼槽を清潔に保つ。